

「かく」の意味分析

藤 森 秀 美

要 旨

本稿は「かく」の意味分析である。

本稿の考察対象は「書く」(描く)、「搔く」と表記されるものである。辞書では「書く」(描く)と「搔く」は別見出しとなっており、別語として扱われている。しかし本稿では、「かく」と読む場合は、漢字表記のいかんにかかわらず一語とした。本稿では「かく」を多義語¹⁾であると捉え、12の意味に分けて分析し、多義構造を示した。「かく」は起点となる意味から、11の意味が派生しており、それを動機づけるのはメタファー、メトニミー、シネクドキーという比喩であるという仮説を示した。

キーワード：多義語、メタファー、メトニミー、シネクドキー

0. はじめに

本稿の目的は「かく」の意味を分析し、その多義構造を明らかにすることである。

以下、本稿の構成について述べる。1節では、先行研究をとりあげ、その問題点を指摘する。2節では、意味分析をする際に援用する概念について述べる。3節では、別義を示し、例文を挙げ、多義語である「かく」の意味分析を行う。4節では、別義を再掲し、別義間の関係を図によって示す。5節では本稿のまとめを行う。6節では今後の課題を述べる。

1. 先行研究

本節では、「かく」の先行研究として、辞書類をとりあげ、その記述内容を検討する。

『新明解国語辞典』では、「書く」(描く)の意味が二つ、「搔く」の意味が三つ挙げられ、以下のように記述されている。

「書く」「搔く」と同源]

①「書く」(あとに残すために)表そうとする何かを物の表面に、目に見える形で示す。②「描

1) 多義語について国広(1982)は次のように定義しており、本稿でもこれに従う。

「多義語」(polysemic word)とは、同一の音形に、意味的に何らかの関連を持つふたつ以上の意味が結びついている語を言う。(P97)

く」えがく。

「掻く」

①有っては困る（無い方がいい）物や状態を取り除くために、物の表面に何かを当てて勢いよく押ししたり引いたりする。②どろどろしたものをすばやく交ぜて、利用（食用）に供する。③望ましくない状態を呈する。

「書く」と「掻く」が同源であるとの記述は示唆的であるが、同源である根拠は示されていない。また、別義としてとりあげられる基準がわかりにくく、別義間の関係も明示されていない。

また、「掻く」の②の用例として「からし（漆）をかく」が記載されている。「からしをかく」は上記の記述でよいと思われるが、「漆をかく」は、漆の液体を交ぜることではない。漆を採取するために、漆の木に刃物で水平に傷をつけ、樹液を採取することである。例としては不適切であると言える。

粉状のからしに水を加えかき交ぜる行為や現在の日本ではほぼ途絶えてしまった漆の樹液を採取する行為を表すこの2例は現代語として、どれほど使用されているか疑問であると考え、本稿では考察の範囲から外す。

2. 援用する概念について

本稿では、「かく」を多義語として分析するが、分析する際に、レトリックの概念であるメタファー、メトニミーを用いる。

メタファー、メトニミーについては、靱山（2001）の以下の定義に従う。

メタファー：二つの事物・概念の何らかの類似性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喩。

メトニミー：二つの事物の外界における隣接性、あるいは二つの事物・概念の思考内、概念上の関連性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喩。

シネクドキー：より一般的な意味を持つ形式を用いて、より特殊な意味を表す、あるいは逆により特殊な意味を表す形式を用いて、より一般的な意味を表すという比喩。

3. 分析

「かく」を辞書で引くと、「書く」（描く）、「掻く」と漢字表記されている。「同源」であるとの記述があるものもあるが、それぞれが別の見出しになっており、一般的には同音異義語として扱われている。本稿では「書く」、「描く」、「掻く」何れの漢字で表記されても「かく」と読む場合

「かく」の意味分析

は、「かく」の基本義から派生した別義であると考え²⁾。

漢字表記の違いが必ずしも意味の違いには結びつかないことについては、初山 (1994) に詳しい³⁾。

本節では、「かく」を12の別義に分け、考察する。まず、分析結果であるそれぞれの別義を示した上で、例文を挙げ、説明していく。

別義1：〈棒状の物を平面に垂直に立て、水平方向に動かす〉⁴⁾

(1) 夏期講習へ行った際、教室をのぞくと……男の子みんなポリポリ頭を掻いて⁵⁾ました(笑)。

(<http://shang-betterhalf.blog.so-net.ne.jp/2011-11-19>)

(2) 乾燥した寒い日に、お風呂に入ろうとして裸になると、必ずとっていいほど背中がかゆくなります。そんなとき背中を掻いてもらうと、とても気持ちが良いです。「孫の手」もいいですが、やはり人に掻いてもらうのが一番ですね。

(<http://blog.livedoor.jp/cyuzaeigo/archives/1618695.html>)

(3) かゆいところを掻くと、かゆみが消えて気持ちよくなるっていうのは、よく体験することだと思います。

(<http://kentapb.blog27.fc2.com/blog-entry-1599.html>)

頭や背中やかゆいところに指を立て、力を入れて横に動かすことである。この動作を行うのは、指以外にペンなど棒状の長い物でも可能である。本稿では別義1が派生の起点となっていると考え基本義とする。

別義2：〈棒状の物を水平方向に動かし、物体に圧力をかけ移動させる〉

(4) 長靴を履いていても歩行が困難であり雪が長靴に入ることもあるので、そうならないように雪をかく。また、車が出せるよう雪をかく。

(<http://blog.livedoor.jp/zoomscape/archives/3858154.html>)

(5) 公民館に着くと、雪が膝上まであって車が入れるような状態ではなかった。とりあえず、車を道路に止めてスコップで雪をかいて車を止めるスペースを確保した。

(<http://itsukahareru.cocolog-nifty.com/blog/2012/04/post-c4fc.html>)

(6) 松葉ほうきで落ち葉を掻くと、地面には均一に整った縞模様が浮かび上がり、次の瞬間、

2) 「えがく」と読む場合の「描く」は考察の対象から外した。

3) 初山 (1994) では「カタイ」の3種類の表記、「固い」「硬い」「堅い」を分析し、「カタイの意味の違い(多義的別義)に対応しているとは言えない」としている。

4) 本稿では、意味を〈 〉で括って示す。

5) 本稿では、分析対象語に下線を引いて示す。

その縞模様の上に1枚の落ち葉が落ちてきました。

(<http://igayasu.com/kusukaki/about/>)

- (7) 堆肥つくりのために落ち葉を掻くと黒々とした腐葉土が現われます。

(<https://sites.google.com/site/mimizujirushi/tutsukuri/luochi-ye-dui-feitsukuri>)

スコップやほうきを横に動かし、雪や落ち葉を脇へ押しやる動作である。次の2例は、「かきわける」という複合動詞になっているが、腕で草や人を脇へ押しやる動作である。

- (8) おかしい、明らかに使われてない道だ。草を掻き分けながら進むと再び県道へ。地図を見ると県道を突っ切って再び遍路道が延びている。国内ツアー突っ切って道に入ると、前にもまして草が茂っていた。草むらを掻き分けて前へ進む。さすがにおかしい。

(<http://blog.livedoor.jp/ledmm18/archives/8395616.html>)

- (9) 乗客が多くないときはいいが乗客が多いとき、人を掻き分けて降りなければいけなかった経験が電車を利用するうえで誰しもあるはずだ。そのとき、ほとんどの人が無言で掻き分けて降りていく。それがごく当たり前のよう。その際、スムーズに動けなかったり、立ち退いてくれない人もいるから無理に掻き分ける。その掻き分けが原因で掻き分けられた人が別の人にぶつかったりする。

(<http://getnews.jp/archives/218597>)

別義2は別義1と同様に棒状の物を水平方向に移動させる点は共通しているが、別義2の方は対象の物体を脇へ押しやるという目的を持つ。別義1から類似性のメタファーによって拡張し派生した意味だと考えられる。

別義3：〈棒状の物を一直線上に動かし、液体に圧力をかけ移動する〉

- (10) ボートを漕ぐ感覚がしっかりと付き、水をオールで掻いて進む楽しさを知ることができました。

(<http://hgl2480.jugem.jp/?day=20091103>)

- (11) いろいろな角度で水を掻いてみることによって、どの角度が一番推進力を得ることができるのかを体感しましょう。多く水を掻く機会をつくれればつくるほど、泳法によってどのように水を掻けば前に進みやすいかがわかってくると思います。

(<http://home.e-catv.ne.jp/y-shiba/nyumon/5swim/swim.html>)

- (12) 掌で海面を叩いたり、水遊びの時のように水を掻いて飛ばしたりして遊びましょう。

(<http://www5b.biglobe.ne.jp/~mabuta/progra-m/fl-rensyu2.htm>)

手やオールで水を押すようにする動作である。その結果前進することが多いが、(12)のよう

に進むこととは関係ないものもある。

別義2では棒状の物で、物体に圧力をかけたが、別義3では液体に圧力をかけている。別義3は別義2から類似性のメタファーによって拡張し派生した意味だと考えられる。

別義4：〈棒状のものを平面に垂直に立て、水平方向に動かし、軌跡を残し、字や絵などを出現させ可視化させる〉

(13) 漢字もひらがなもすべて均等に書いてもキレイに見えますが、ひらがなだけを若干小さめに書くとバランスよく見えます。

(<http://tuitui.jp/2011/09/c05-mojikaku.html>)

(14) 手相が良くない……/⁶⁾ そんなお悩みをお持ちの方……/そうです/いい手相の線を書いてしまえばいいのです。

(<http://www.d6.dion.ne.jp/~m.kaneko/tesouwokaku.html>)

(13) では、筆記具で文字を、(14) は、手相の線をペンで書くというものである。また、次の例のように図形や絵を出現させる場合もある。

(15) わたくしこんな絵をかいています

(<http://qumiko.exblog.jp/>)

(16) よく私の絵を書いて見せてくれるのですが、ずいぶん上手に描けるようになったのでびっくりしちゃいました (中略) こんな風に描いてくれるなんてうれしいな

(<http://yaplog.jp/piano-kozue/archive/727>)

また、次の2例のように筆などの棒状の筆記具や画材でなく、マウスなどを用いてPC上に出現させることもある。

(17) マウスを使って左側の四角の中で漢字を書いてみてください。

(<http://kanji.sjfaq.org/drawj.html>)

(18) 早くあったかくならないかなと思いをこめて桜イラストを書きました。

(<http://www.youtube.com/watch?v=rVkvRSqMnmw>)

筆記具を動かすことにより、文字や絵などが出現するのである。別義4は別義1から時間上の隣接によるメトニミーによって拡張し派生した意味だと考えられる。

6) 元の文には読点がなく、改行で文の終わりを示してあったため、本稿では文末に/を用いて表示する。

別義5：〈思考内容を脳内から出現させ可視化させる〉

- (19) ネット証券4社共同での投信プロジェクトについて、個人的な想いや考えを書きます
(<http://net-toushin.jp/articles/-/43>)
- (20) ただただひらめいたことを書きます。
(<http://ameblo.jp/all-well-being/entry-11276864070.html>)
- (21) エープルフルフルということを思うことを書きます
(<http://tumblr.suakx.com/post/20229001267>)

考えたことや思ったことをそのまま表現したり、日記やブログなど、身近に起こったできごとを表したりする例である。一つ一つの文字が連なり、思考内容を表すのである。別義5では出現させ、可視化させるのは、思考内容である。別義5は別義4から類似性のメタファーにより拡張し派生した意味だと考える。

別義6：〈創作物を脳内から出現させ可視化させる〉

- (22) 長くなくても良いから一つの物語を書いてみたい!
(<http://sakka.org/opinion/thread/index.cgi?mode=past & no=911>)
- (23) 短編小説を書いてみた。
(<http://ameblo.jp/tyu1942/entry-11219720442.html>)
- (24) その夏のコンクールに、私も詩を書いて応募してみようと思いました。
(<http://ncode.syosetu.com/n5257p/>)

物語や小説など、創作したものを表すことであり、文学作品を作り上げることである。別義5では、思ったことや考えたことを出現させるが、別義6では創作活動によって、文学作品を出現させることである。創作物は思考内容の特殊な物と考えられる。別義6は別義5からシネクドキーによって拡張し派生した意味だと見られる。

別義7：〈創作物を脳内から出現させ可聴化させる〉

- (25) “いつだって少しだけ本当には届かない” というフレーズを中心にした曲を書いたことがあって、この曲は自分でも結構気に入っているんなバンドでやったりしてるんだけど、まあちょっとそんなことを今日は書こうかなって思ってる。
(<http://nekogata.hatenablog.com/entry/2012/06/25/213143>)
- (26) 実は「道」を書いた時に、2曲同時に同じタイプの曲を書いたのです。
(<http://www5d.biglobe.ne.jp/~fabpage/disc/cd002.html>)

「かく」の意味分析

(27) モーツァルトは1792年に35歳で死亡するまでに626曲を書いた。その中でピアノ協奏曲は27曲である。27曲のピアノ協奏曲を書いたのはモーツァルト唯一人であろう。

(<http://www51.tok2.com/home/sendatakayuki/cd/mpianocon.html>)

(28) バッハが活躍した18世紀、バッハ以外の作曲家の多くはどんどん新しい曲を書いては売り、あるいは次の日のコンサートのために急いで曲を書いていました。(中略) バッハよりすばらしい変奏曲を書いた人もいないし、バッハより長い組曲を書いた人もいない……まさに時空を超えた大作曲家であり、難曲作りの名人です。

(<http://www.nhk-ep.co.jp/pianopia/interview/nakano.html>)

音楽の楽曲などを作り出すことである。

別義6で脳内から出現させるのは、文学作品であるが、別義7は音楽作品である。別義7は別義6から類似性のメタファーによって拡張し派生した意味だと考えられる。

別義8：〈物体を体内から体外へ出現させる〉

(29) 最近良い汗かいていますか？ 汗をかくことは身体に良いことらしいと何となく頭では理解していても、実際にはなかなか行動が伴わないのではありませんか？

(http://www.doovey.com/ganbanyoku/2006/07/post_95.html)

(30) 走り回る娘を追いかけて、久しぶりに汗をかいた

(<http://yaplog.jp/herohero/archive/364>)

(31) 暑くなったら、全身から汗をかく。

(<http://www.excite.co.jp/News/bit/E1277188198622.html>)

別義8から別義12までは慣用表現であるが、分析の対象とした。

別義8は体温調節のため、体内の水分を外へ出すことである。別義8は別義5から類似性のメタファーによって拡張し派生した意味だと考えられる。別義5で出現するのは考えや思ったことであるが、別義8では液体の汗である。

別義9：〈音声を体内から体外へ出現させる〉

(32) うちの旦那さんは、毎日いびきをかいて寝ます。

(http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1117609366)

(33) 大好きなバナナをもぐもぐしながら寝ちゃいました……スースーいびきをかいています。

(<http://photomemo.jp/yoko14pinky/301659>)

(34) 殆どの場合、疲れている時にはいびきをかきやすいものです。特に疲れを癒すためにアルコール類を飲み過ぎたりするといびきをかきやすくなります。しかし、いつもはいびき

をかかない人が疲れた時にかくいびきは単純性で一時的ないびきですから、それほど心配することはありません。

(<http://www.ibikicker.com/tsukare.html>)

寝ている時に音声を出すことであり、出現するのは、いびきという音声である。別義9は別義8から類似性メタファーによって拡張し派生した意味だと考える。

別義10：〈表情に表して感情を出現させる〉

(35) 左目尻にできもの発生/治療の痛さにべそをかく/大人になっただって痛いものは痛いのだ

(<http://sonorite.exblog.jp/16248460/>)

(36) 子供たちが校門を出てやってくる。数人ずつ騒ぎながらまとまってくるのが多い。おや、一人でやってきた男の子がべそをかいている。泣くまいぞと一生懸命涙をこらえている。どんな悲しいことがあったか。

(<http://aratay31.exblog.jp/566268/>)

悲しいという感情を外に表出させることである。次の例のように「泣きべそをかく」、「半べそをかく」というバリエーションもある。

(37) 知らない人をみると穴のあくほどじっと見つめていませんか。そしてしまいには、泣きべそをかき赤ちゃんも……。早い赤ちゃん（もっと早い場合もありますが）では人見知りの始まりです。

(<http://baby.icreo.co.jp/information2/archives/205>)

(38) わたしがよく泣きべそをかいていると「女の腐ったみたいにメソメソ泣いているんじゃない」を口癖のように言っていました。

(<http://fkorio.wordpress.com/2011/01/08/%E6%B3%A3%E3%81%8F%E5%AD%90%E3%81%AB%E6%89%8B%E3%82%92%E3%81%95%E3%81%97%E3%81%AE%E3%81%B9%E3%82%8B/>)

(39) このコンサートに向けて子どもたちは、合唱と合奏の練習に約1ヶ月半に渡って熱心に取り組んできました。なかなかうまくできずに半べそをかいている子がいました。

(<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakamaru/gakkoudayori/h23/H24.1.pdf>)

(40) 最近、移動中やちょっとした空き時間に“My sister’s keeper”を読んでいたのですが、今日ついにバスの中で読み終わりました。しかも半べそをかきながら……。苦笑)

(<http://cheekychia.blog77.fc2.com/blog-entry-359.html>)

次の2例では、「顔に書いてある」という表現で、何らかの感情を外に表すという意味を表し

ている。

(41) 間違えようがない。「合格しました」と顔に、書いてある。

(<http://katou.jp/?eid=339>)

(42) へちゃーとつぶれて「暑いから動きたくないよぉ」って顔に書いてある。顎までぺたっとつけて手はだらん。

(<http://ascii.jp/elem/000/000/710/710413/>)

「合格しました」、「暑いから動きたくないよぉ」という文字列を誰かが顔にペンで書いたということではなく、(41)では合格したことがはっきりわかるような嬉しそうな表情を、(42)では暑くて動けないような様子を表情や態度で表している。

別義10で出現するのは、感情である。別義10も別義8から類似性メタファーによって拡張し派生した意味だと考える。

別義11：〈人に見せたくない一面を出現させ、いやな気分になる〉

(43) 最近、コンビニで買い物したときに支払いでたった5円足りなくて恥をかいた。

(<http://www.geocities.co.jp/Hollywood-Screen/1415/cinefool/matrix03.html>)

(44)(前略)小学校の参観日。(中略)授業内容は、「作文」だった。(中略)私は当てられて読んだ。

(中略)帰ってから、母にしかられたのだ。『あんなこと書いて！ 恥をかいたじゃない。』

(中略)“掃除をするお父さん”が、だめだったらしい。

(<http://d.hatena.ne.jp/goodandbad/>)

(45) 読み違いは誰にでもある。また、知らない字もある。私も子供の頃から、正確に読むことができなくて恥をかいたことが何度もある。

(<http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20081126/115329/>)

お金を持たずに買い物したこと、夫に掃除をさせていること、字が読めないことは何れも人に知られたくないことである。それが、人前であらわになり、いやな気持ちになったという例である。「恥をかく」は、程度がはなはだしくなると、次の例のように「大恥をかく」、「赤っ恥をかく」となる。

(46) 父の葬儀で葬儀屋に数々の失敗をされた。おかげで大恥をかいた。

(http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1179122176)

(47) 「赤っ恥をかいて、ダンスは巧くなるものです」試験を終えて、コーチャーからそう諭された。雲の上の人と慕っているコーチャーも、アマチュア時代にメダルテストでアタマ真っ白、赤っ恥をかいたという。

(<http://www.itoigawa-hp.jp/etc/dance/essay-detail.php?id=44>)

また、次の例のように「ほえづらをかく」という表現で、くやしい気持ちを出現させる意味を表す。

(48) スポーツ紙は「次にはえ面をかくのは、先輩横綱の番だ」と朝青龍を攻撃する。「ほえ面かく」とは、21場所も一人横綱として大相撲を引っ張ってきた横綱に対する言葉とは思えない。

(<http://home.r07.itscom.net/hajime-k/newpage71.html>)

(49) もうすぐ会社を辞める（というか、半ば自業自得で、辞めざるを得ない状況に追い込まれた）同僚が、「俺が辞めて、（同じセクションの）皆がほえ面をかくだろうな。」と言ったらしい。

(http://paraisito.blogspot.jp/2008/02/blog-post_25.html)

(50) いい気になってる奴ら、あとではえ面をかくなよ。

(<http://silvester.blog21.fc2.com/blog-date-201201.html>)

別義11で出現するのは「人に見せたくない一面」である。別義11は嫌な気分になるという意味が加わり特殊化しているため、別義8からシネクドキーによって拡張し派生した意味だと考えられる。

別義12：〈人に見せたくない一面を出現させ、行動に移す〉

(51) 「お金持ちになりたい」と祈りを口にしたら「欲をかいたらあかんっ！！ 人には分相応ってもんあるの」と怒られた。

(<http://blog.livedoor.jp/mayumimi1208/>)

(52) 観光客、観光客と欲をかくばかりで、観光客に便利な日本にしよう、という営業努力が置き去り。

(<http://www.buhimaman.com/blog/2011/10/post-1216.html>)

(53) 欲をかくとたいい損をする。汗をかくのはいいけど欲をかくのは禁物。

(<http://d.hatena.ne.jp/shioshiohida/20120604/1338740449>)

別義12で出現するのは、「お金が欲しい」、「人より多くの物を得たい」という一面で、金品を得るために行動に移すことである。別義12は別義11から類似性メタファーにより拡張し派生した意味だと考えられる。

4. 「かく」の多義構造

本稿で明らかになった別義とその例文を以下に再掲し、図によって多義構造を示す。

4.1 「かく」の別義

別義1：〈棒状の物を平面に垂直に立て、水平方向に動かす〉

(1)' 頭を搔く

別義2：〈棒状の物を水平方向に動かし、物体に圧力をかけ移動させる〉

(5)' スコップで雪をかく

別義3：〈棒状の物を一直線上に動かし、液体に圧力をかけ移動する〉

(10)' 水をオールで掻く

別義4：〈棒状の物を平面に垂直に立て、水平方向に動かし、軌跡を残し、字や絵などを出現させ可視化させる〉

(13)' ひらがなを書く

別義5：〈思考内容を脳内から出現させ可視化させる〉

(20)' ひらめいたことを書く

別義6：〈創作物を脳内から出現させ可視化させる〉

(23)' 短編小説を書く

別義7：〈創作物を脳内から出現させ可聴化させる〉

(25)' 曲を書く

別義8：〈物体を体内から体外へ出現させる〉

(29)' 汗をかく

別義9：〈音声を体内から体外へ出現させる〉

(32)' いびきをかく

別義10：〈表情に表して感情を出現させる〉

(35)' べそをかく

別義11：〈人に見せたくない一面を出現させ、いやな気分になる〉

(43)' 恥をかく

別義12：〈人に見せたくない一面を出現させ、行動に移す〉

(51)' 欲をかく

4.2 「かく」の多義構造図

「かく」の多義構造の図を以下に示す。

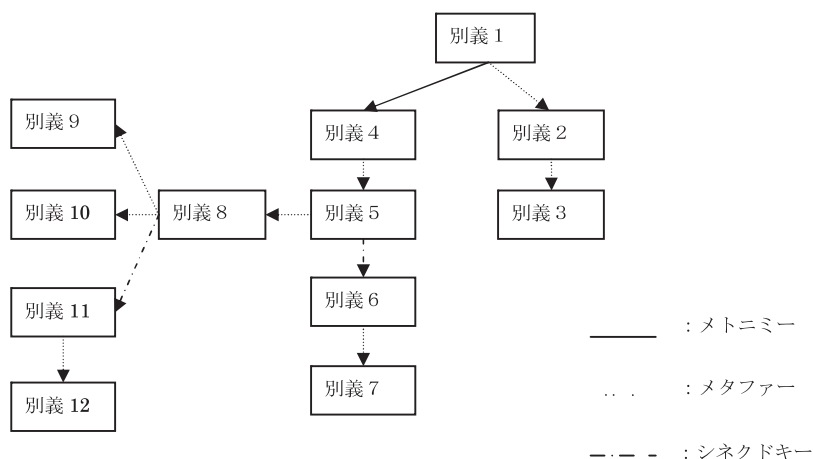


図1

5. おわりに

本稿では「かく」の意味分析を試みた。分析結果に基づき、「かく」は基点となる意味から11の意味が派生していることが明らかになった。意味の派生を動機づけているのは、メタファー、メトニミー、シネクドキーという比喩である。

6. 今後の課題

複合動詞の構成要素となる「かく」の分析、また、類義語である「えがく」の分析も必要だと考える。

引用文献

国広哲弥 (1982) 『意味論の方法』大修館書店

栩山洋介 (1994) 「形容詞「カタイ」の多義構造」日本語・日本文化論集第2号 名古屋大学留学生センター

栩山洋介 (2001) 「多義語の複数の意味を統括するモデルと比喩」山梨・辻・西村・坪井編『認知言語学論考』No. 1. 29-58 ひつじ書房

辞書類

山田忠雄他編 (2012) 『新明解国語辞典』第7版

用例出典

() 内に URL を示したもの : (google (<http://www.google.com/intl/ja/>)),

(Yahoo JAPAN (<http://www.yahoo.co.jp/>)) にて検索